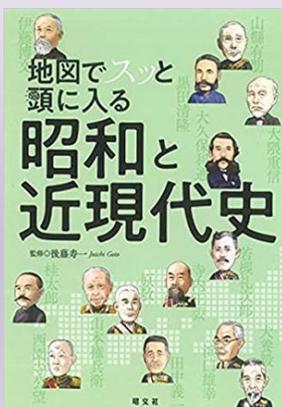


今回のティーンズ特集は、歴史の中でも近現代史を中心に特集しています。今起こっている問題の根源は過去からつながっています。未来を考えるためにも、近現代史に触れてみませんか！？コロナ禍にウクライナ情勢。世界は大きく変わっている。過渡期の今こそ、歴史に学ぼう！



『地図でスッと頭に入る 昭和と近現代史』

後藤寿一[監修] 昭文社

2022年度高校必修科目「歴史総合」では、日本と世界の近現代を学ぶようになりました。本書は、昭和史を中心として、激動の20世紀を世界の流れと日本との関わりを図解でわかりやすく解説しています。まさに、近現代史入門編といえます。



『齋藤孝の一気読み！日本近現代史』

齋藤孝 東京堂出版

明治維新から、戦争の時代、戦後の高度成長期を経て、現在まで150年の歴史の流れを語りかけるように解説しています。歴史の授業では、授業時間の関係か、駆け足で過ぎていく近現代史ですが、現在の生活に大きな影響を与えている重要な時代です。歴史を学ぶ意味について、齋藤先生の熱い授業を受けましょう。



『東大教授がおしえる日本史をつかむ図鑑』

山本博文[監修] 二見書房

人類の誕生からバブル経済期までの日本史をイラストで表現して、大きな流れをつかむことができるように構成されています。相関関係や地形図などを使い、日本史の全体像を把握するには最適な本となっています。